

学生海外派遣プログラム実施報告書

所属学科：創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻

氏名：大西 省三

派遣期間：2019年3月12日～2019年3月20日

派遣先：台湾、台湾師範大学

2019年3月12日～2019年3月20日、台湾の台湾師範大学で行われた2019スプリングプログラムに参加しました。このプログラムの講義や実験を通して、数学や化学、生物、地学などの幅広い分野を学ぶことができ、見識を広げることができました。いずれの授業においても、考える時間や演習の時間が設けられるなど、生徒に理解させるような工夫がなされており、非常に有意義なものでした。その他にも、台湾の文化や歴史を学ぶ機会は数多くあり、フィールドトリップでは、台湾の地震や交通網の発達、発電に関する事など、これまで台湾という国が発達してきた経緯を勉強することができました。本プログラムの日程およびその概要を以下に示します。

-
- 1日目：台湾到着、ウェルカムパーティー
 - 2日目：講義（数学）、実験（化学）
 - 3日目：講義（自然科学）、実験（生物、化学）
 - 4日目：観光（中正記念堂、台北101、故宮博物館）
 - 5日目：フィールドトリップ（宜蘭、九份）
 - 6日目：フィールドトリップ（台中）
 - 7日目：フィールドトリップ（南投）
 - 8日目：講義（情報セキュリティ）、プレゼンテーション、送別会
 - 9日目：帰国では
-

本プログラムは、屋内での講義だけでなく、観光や屋外での学習が設けられました。4日目の台北観光では、小籠包の名店を訪れることで食を楽しみ、中正記念堂や故宮博物館を訪れることで日本とは全く異なった文化に触れることができました。5日目のフィールドトリップでは、映画“千と千尋の神隠し”の湯屋のモデルとして有名な九份を訪れ、景色を楽しむことができました。このような台湾の食や文化、景色を楽しむこともさることながら、6・7日目のフィールドトリップでは、地震で大き

な被害を受けた場所（図1）を訪れ、グループで断層を調査することで地震のマグニチュードを測定する（図2）といったような、グループワークの場が設けられました。8日目には、グループで学習した内容をプレゼンするという場（図3）も設けられ、本プログラムで身に付けた英語力や学習したことをアウトプットすることができ、本プログラムを参加して得たことを最終確認することができました。



図1 地震で傾いた鉄塔



図3 プレゼンテーション



図2 断層から地震の大きさを測定

今回の海外派遣プログラムに参加することで、英語力を身に付けるだけでなく、日本以外の文化にも触れることができ、視野を広げることができました。このような貴重な経験は、今後活かせるものだと確信しています。

また、台湾は航空機代や物価も比較的安く、治安も良いため留学をする上では適した環境であると思います。少しでも海外留学したいと考えている人は、ぜひとも参加してほしいプログラムだと思いました。

最後に、このようなプログラムを企画し、運営して下さった台湾師範大学の学生、先生の方々に厚く御礼申し上げますとともに、このプログラムに際しまして、ご尽力いただきました山口大学と関西学院大学の学生、先生方に感謝申し上げます。